

愛が見えない



東郷 潤

子供がわざわざ叱られるようなことをするって、珍しいことではありません。
たとえばお母さんの前でタバコを吸ってみせるとか。



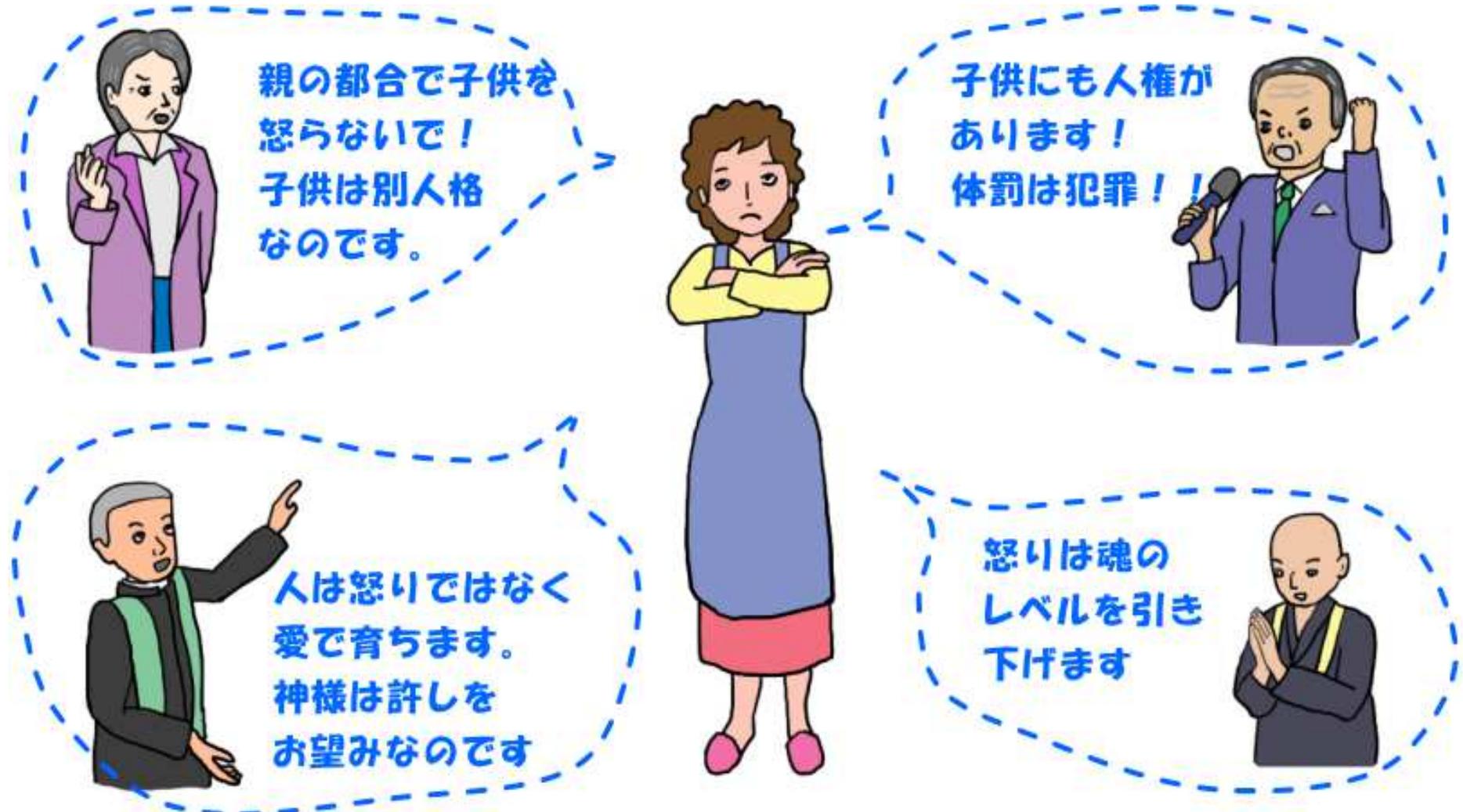
それはこんな心理かも。



母の怒りは、子どもに強い安心感を与えるでしょう。¹

¹ 体罰の善悪を主張しているものではありません。

でももしお母さんが「怒ることは悪い」なんて思い込んでいたら？²



² それぞれの主張の善悪を主張するものではありません。



法律で禁止されているのよ

健康に悪いのよ

お肌にだって悪いのよ



そんなの関係ねえ!

さあ、怒って!

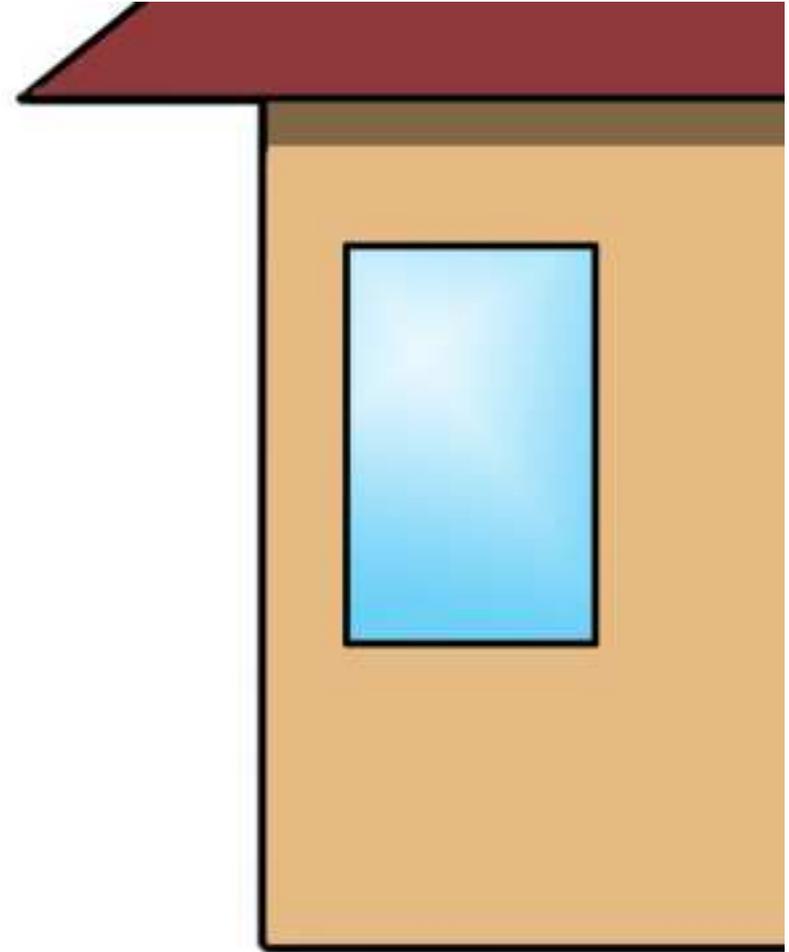
いくら優しく言っても子供は言うことを聞きません。怒るという選択肢を持たないお母さんにはもうどうしようもありません。



子供は不安になり、母の愛を確認したいと強く思うようになりました。



家出をしてみよう。
今度こそ怒って
くれるはずだ



子供の家出に気づいたお母さんは、真っ青になりました。



幸い子供はすぐに連れ戻されました。





子供は一層、落ち込みました。

心が壊れそうな子供は、それでも何とか母の愛を確認しようとしてきました。



じゃ、今度は薬を試してみよう。
これでもう最後だ

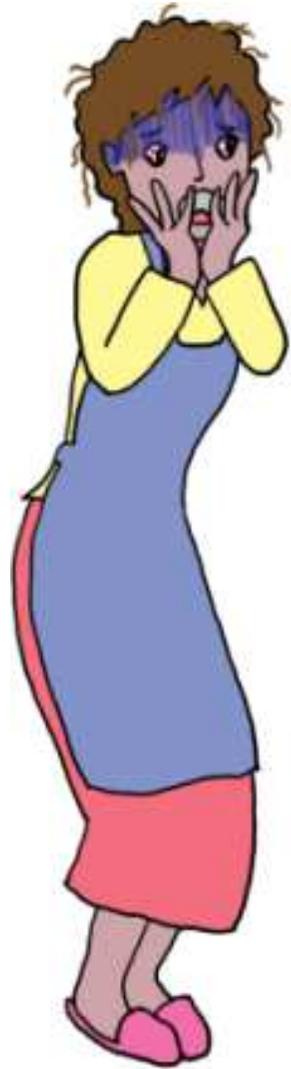
お母さんは優しく注意しました。



薬をやめなさい。
そうしないと死んじゃうわよ

どうでもいいじゃん





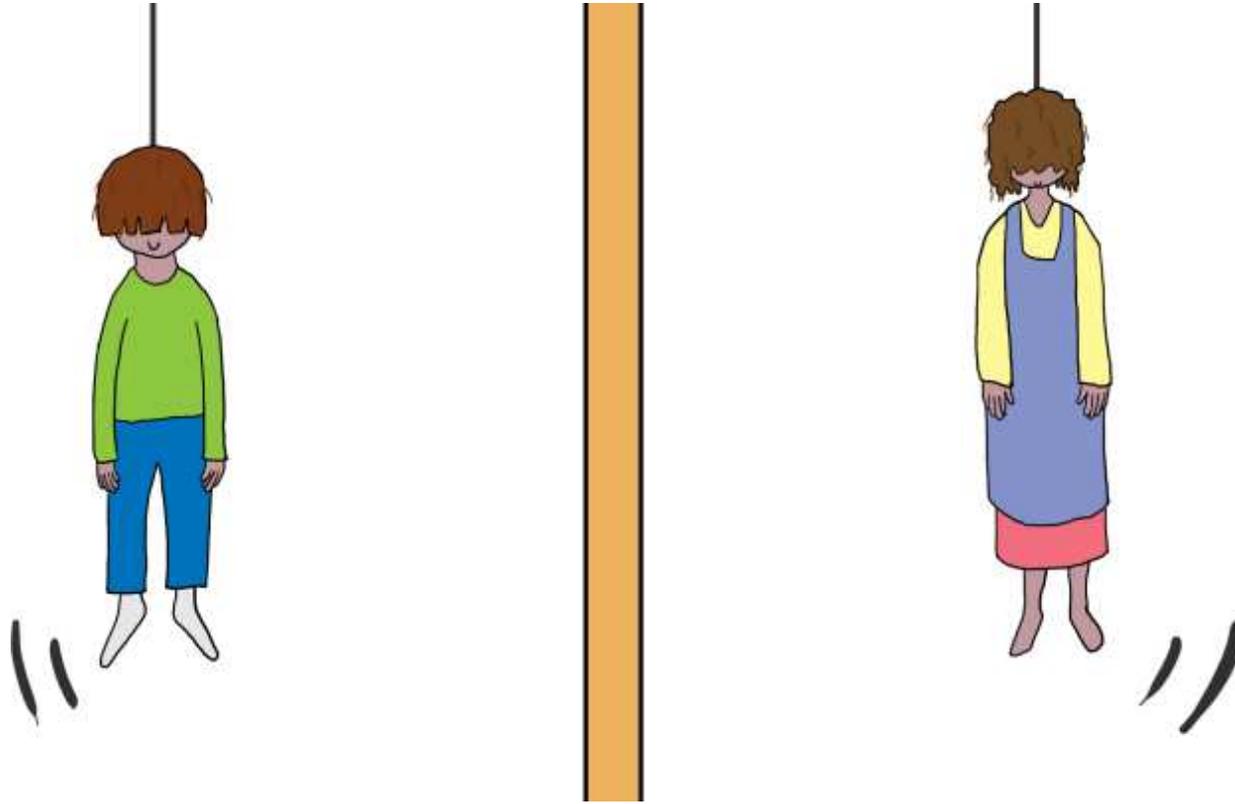
もし僕を愛している
なら、今度こそ本気で
怒ってくれるはずだ





善悪が生んだ誤解が解けません。

怒ることが悪ですって！？



愛が消えるよ。

あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2019